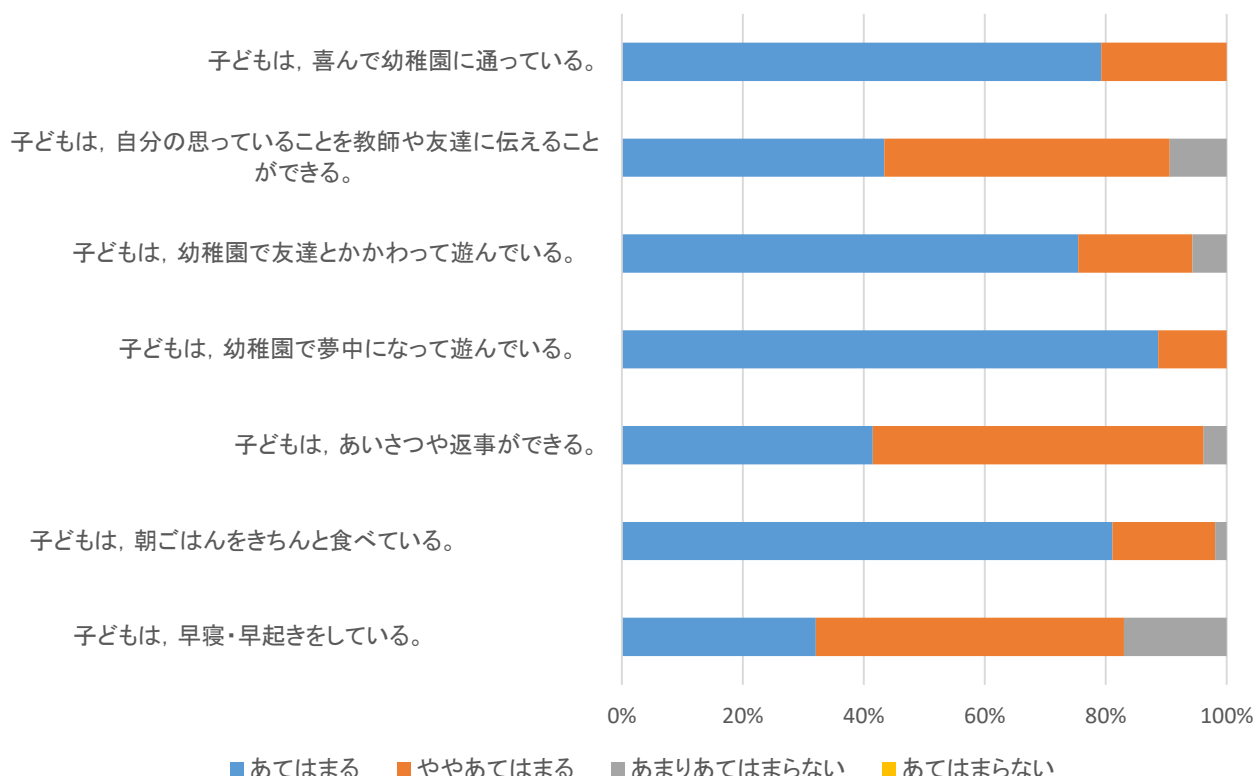


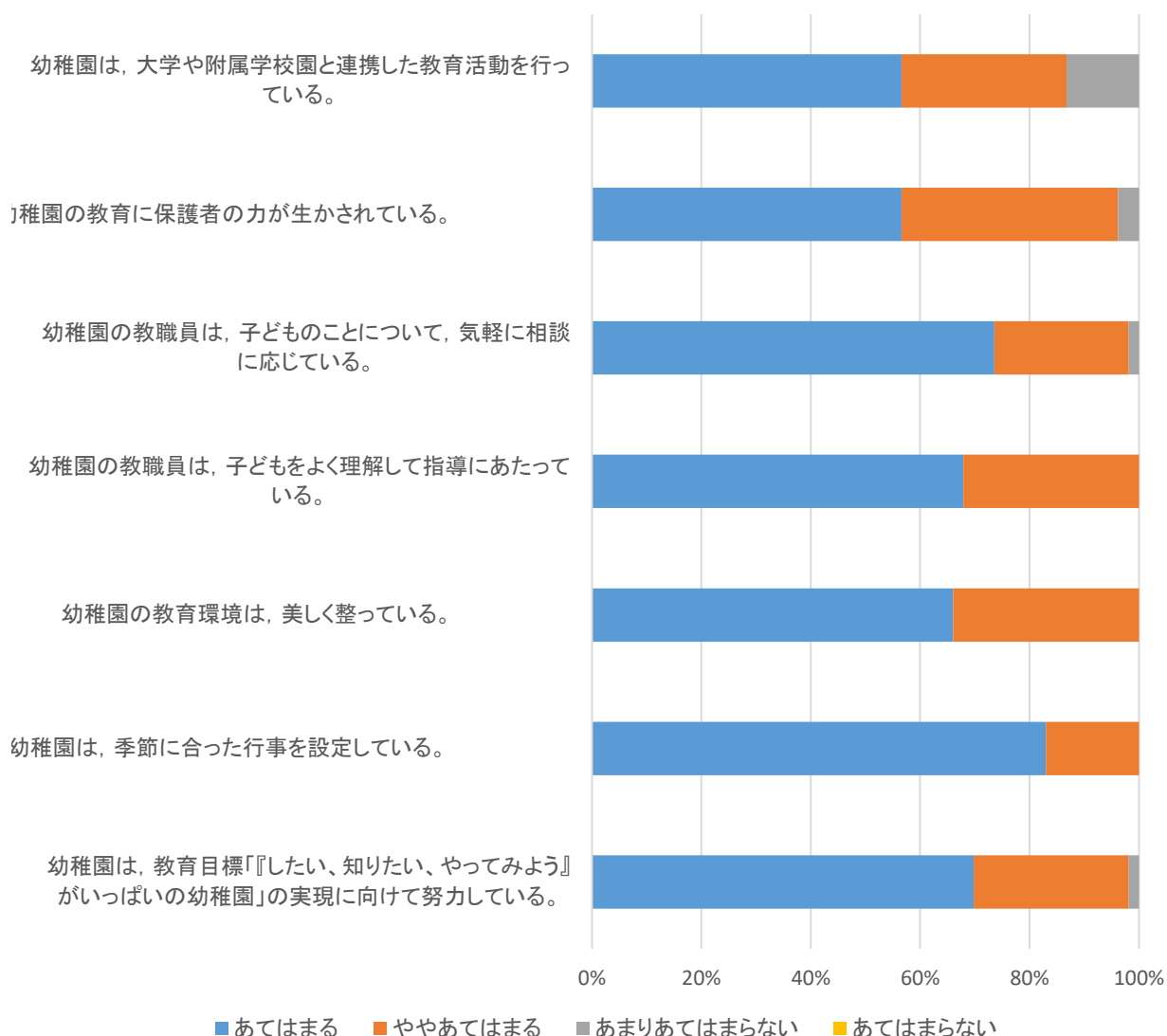
令和6年度学校評価(保護者)アンケート集計結果

1 子どもについて



- すべての質問項目において、80%以上の高い肯定的評価を得られました。特に、「子どもは喜んで幼稚園に通っている」「子どもは、幼稚園で夢中になって遊んでいる」の肯定率が100%であったことが何よりもうれしく思いました。今後も、子どもたちが、「幼稚園に行きたい」「幼稚園で遊びたい」と思ってもらえるように取り組んでまいります。
- 「朝ごはんをきちんと食べている」「あいさつや返事ができる」に関しては、前期に比べて格段に評価が上がりました。
- 「自分の思いを他者に伝える」という質問でも、若干ではありますが向上しました。今後も、楽しかった遊びや友達と関わって楽しかったことなどを全体の前で発表したり、遊びの中で自分の思いや考えを伝えることができるようしっかりと時間をとって尋ねたりなど継続して取り組んでおります。御家庭でも、お子様の気持ちや考えを発言する機会をこれまで以上につくっていただけるとありがたいです。

2 幼稚園の教育について

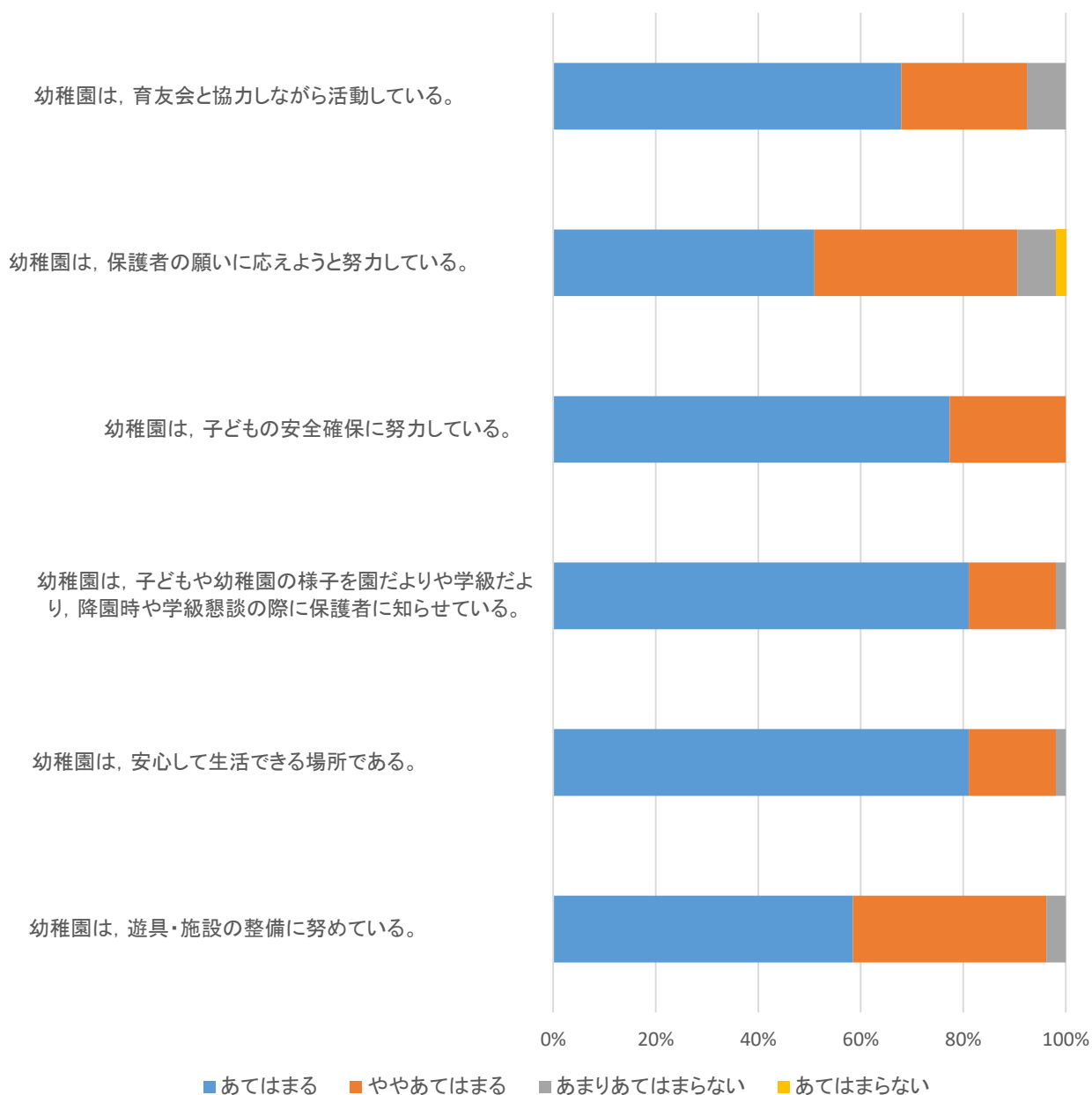


・ 7つの質問項目中6項目において、肯定的評価が9割を超え、3項目は100%の評価いただきました。

・ 一方、「大学や附属学校との連携した教育活動」については「あまり当てはまらない」と回答された保護者もおられました。今年度は、幼小及び幼中の交流活動を昨年度より多く設定した中での評価で、活動のねらいや内容をもう一度関係学校と検討し直すとともに、保護者への理解啓発に努めてまいりたいと思います。

・ 今後も、保護者の方が相談しやすい雰囲気づくりを職員全員で努めるとともに、育友会と協力して保護者の力が園に生かされるよう努力してまいります。

3 幼稚園の運営について



- すべての質問項目において、肯定的評価が9割を超える評価をいただき、「子どもの安全確保」は100%でした。
- 「保護者の願いに応える」について、前期に比べるとやや向上したものの「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」の割合が他の質問に比べて多かったです。長崎大学教育学部の附属幼稚園としての使命や役割を果たすこと、保護者の思いや願いを真摯に受け止めることをしっかりと考え、子どもにとっても保護者にとっても園にとってもベストな方法を育友会とも協力しながら検討してまいります。